

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)



平成20年10月31日

上場会社名 ホリイフードサービス株式会社 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 3077 URL <http://www.horiiifood.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)飯田 益弘
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)根本 輝昌 TEL (029) 233 — 5825
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	3,143	—	212	—	212	—	90	—
20年3月期第2四半期	2,847	10.7	214	△32.7	198	△36.5	90	△45.2

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	32	01	—	—
20年3月期第2四半期	32	31	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第2四半期	3,457		2,262		65.5		798	23
20年3月期	3,161		2,202		69.7		776	96

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 2,262百万円 20年3月期 2,202百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	—	—	0	00	—	—	10	00	10	00
21年3月期	—	—	0	00	—	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	10	00	10	00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,270	7.5	488	18.4	487	23.3	241	82.1	85	11

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無
- (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | | | | |
| | 21年3月期第2四半期 | 2,835,000株 | 20年3月期 | 2,835,000株 |
| ② 期末自己株式数 | | | | |
| | 21年3月期第2四半期 | — 株 | 20年3月期 | — 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計期間） | | | | |
| | 21年3月期第2四半期 | 2,835,000株 | 20年3月期第2四半期 | 2,807,131株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い、四半期財務諸表を作成しております。
2. 上記に記載した業績予想等の将来に関する記述については、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき、合理的と判断する一定の前提に基づいた見通しとなっております。したがって、様々な要因により実際の業績等は上記予想と異なる可能性があります。

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国における金融不安が世界的に波及しつつあり、わが国においても株価下落が鮮明となり、恒常的な円高による輸出企業の収益悪化が懸念される状況にあります。商品市況におきましては往時の極端な高騰からは脱しつつあると思われませんが、世界的な実需の増大は今後も継続すると思われ、未だ予断を許さない状況にあり物価上昇圧力が解消したとは考えられませんが、個人消費においても所得環境の悪化や将来への不安も手伝って回復は困難な状況にあると思われま

す。以上のとおり、景気減速を懸念させる状況のなか推移してまいりました。外食産業におきましては、原料価格の高騰による食材原価の高騰及び全般的な物価上昇による経費増大に見舞われており、加えて食への安心安全を脅かす食品偽装・危険な薬物の混入などが相次ぎ利用動機の減退を招くなか厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のなかで、当社は経営効率のより一層の向上を目指し、事業の再構築の一環として新規出店を意識的に抑え、新規出店による増収効果による利益増加のみに囚われず、既存店の収益力向上と不採算店舗の整理による利益率の向上によって今後の安定的な成長基盤の構築を目指した事業改革を進めております。販売戦略的には、従来どおり産地にこだわった高品質な食材の使用や季節ごとの各種フェアを、新たな広告媒体を通じてお客様にお知らせし低下傾向にある利用動機の底上げを常に模索しております。加えて、昨今のアルコール飲料消費に対する社会的な規制強化に対処するために食事性の高い新業態の開発が急務であると判断し、その一環として「しゃぶしゃぶ三昧 巴」を開発し、1号店を茨城県ひたちなか市に新規オープンいたしました。また、エリア構成を細分化し「人材力の強化」「サービスレベルの向上」「競争意識の向上」等、店舗運営を全般的に改善しお客様に「より快適な食の時間」をご提供できる環境整備を目標とした全社的な従業員の資質向上に努めております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高3,143,868千円(前年同期間比10.4%増)、損益面につきましては、販売費及び一般管理費については主に店舗運営体制強化を目的とした店舗人員配置の拡充により人件費が増加し2,021,316千円(前年同期間比11.0%増)となり営業利益212,976千円(前年同期間比0.9%減)となりました。経常利益につきましては、前年同期間において新規上場に伴い発生しておりました費用の減少により212,390千円(前年同期間比7.0%増)となり、特別損失として減損損失等合計31,942千円を計上したことにより四半期純利益90,755千円(前年同期間比0.1%増)となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

①オリジナル部門

オリジナル部門では、売上高につきましては、新規出店(8店舗)に伴う増収及び既存店活性化策が功を奏し、2,441,660千円(前年同期間比20.1%増)となり、営業利益につきましては、主に店舗管理体制の強化を目的とした人件費の増加による販売費一般管理費の増加を見ましたが392,273千円(前年同期間比9.0%増)となりました。

②フランチャイズ部門

フランチャイズ部門では、売上高につきましては、既存店舗の改善策の一環として進めて参りました業態変更(4店舗)による増収効果はありましたが、不採算店舗の閉鎖(5店舗)による減収を補完するに至らず702,207千円(前年同期間比13.8%減)となりました。営業利益につきましては、不採算店舗の閉鎖により利益体質は好転しておりますが、オリジナル部門と同様の理由による人件費の増加及び業態変更店舗において業態変更に要した初期費用の回収には若干の時間を要する状況にあり33,830千円(前年同期間比21.9%減)となりました。

「経営成績に関する定性的情報」における前年同期間比増減率につきましては、参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における資産の状況は、主に店舗新設及び業態変更による有形固定資産の増加196,759千円により3,457,104千円(前事業年度末比295,710千円増)となりました。また、前事業年度末において投資その他の資産に含めておりました長期預金480,000千円が当第2四半期会計期間末から1年以内に満期を迎えるため、投資その他の資産から現金及び預金へ振替えております。

負債は、設備資金に対する長期借入金の増加145,376千円及び未払法人税等の増加78,468千円により1,194,127千円(前事業年度末比235,421千円増)となりました。

純資産は、四半期純利益の計上による90,755千円の増加、期末配当金の支出計上による28,350千円の減少などにより2,262,607千円(前事業年度末比60,289千円増)となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間においては当初の業績予想を上回り好調に推移して参りました。しかしながら、景気動向を考慮しますと個人消費の回復は困難であると思われま

が、再び高騰し物価上昇を再燃させる可能性は高く、当該要因による費用増加が利益減少を招く恐れがあります。

これらに対して当社は、当第2四半期累計期間において当初計画どおりに新業態「しゃぶしゃぶ三味巴」1店舗を含む8店舗の新規開設及び5店舗の業態変更を終了しており、新設店舗及び業態変更店舗が今後の業績に寄与して参るものと考えております。また、業績不振店に関してましても、当初の計画に1店舗を追加した3店舗の閉鎖を進め、利益圧迫要因を排除し利益率の維持向上に努めて参ります。費用面におきましては、コストダウン委員会を組織し、全社的な費用増加の抑制及び削減を図っております。なお、店舗運営体制強化のために要した人件費の増加は継続して参りますが、当該措置によるサービスレベルの向上は販売実績に寄与していくものと考えております。

以上により、平成20年5月14日発表の平成21年3月期の通期業績予想を平成20年10月28日に別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算出方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以後に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当事業年度の税引前純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	707,379	175,715
売掛金	26,809	25,932
原材料	41,776	34,276
前払費用	76,955	65,166
繰延税金資産	34,688	34,688
その他	8,771	4,136
流動資産合計	896,381	339,915
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,842,716	1,654,819
その他(純額)	48,084	39,221
有形固定資産合計	1,890,801	1,694,041
無形固定資産	3,340	3,489
投資その他の資産		
長期貸付金	137,245	129,464
繰延税金資産	44,860	43,422
敷金及び保証金	403,595	404,949
長期預金	24,000	493,000
その他	70,408	63,040
貸倒引当金	△13,527	△9,930
投資その他の資産合計	666,581	1,123,948
固定資産合計	2,560,723	2,821,478
資産合計	3,457,104	3,161,394

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,186	149,443
1年内返済予定の長期借入金	294,234	255,148
未払金	221,261	211,898
未払法人税等	95,612	17,144
賞与引当金	34,533	29,630
店舗閉鎖損失引当金	14,322	32,716
その他	93,447	86,895
流動負債合計	913,598	782,877
固定負債		
長期借入金	277,545	171,254
その他	2,983	4,574
固定負債合計	280,528	175,828
負債合計	1,194,127	958,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,375	292,375
資本剰余金		
資本準備金	282,375	282,375
資本剰余金合計	282,375	282,375
利益剰余金		
利益準備金	4,500	4,500
その他利益剰余金		
別途積立金	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	687,109	624,703
利益剰余金合計	1,691,609	1,629,203
株主資本合計	2,266,359	2,203,953
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,381	△1,265
評価・換算差額等合計	△3,381	△1,265
純資産合計	2,262,977	2,202,688
負債純資産合計	3,457,104	3,161,394

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	3,143,868
売上原価	909,575
売上総利益	2,234,292
販売費及び一般管理費	2,021,316
営業利益	212,976
営業外収益	
受取利息	1,564
専売料収入	2,259
その他	867
営業外収益合計	4,691
営業外費用	
支払利息	4,468
その他	809
営業外費用合計	5,278
経常利益	212,390
特別損失	
固定資産除却損	3,859
減損損失	18,246
貸倒引当金繰入	6,498
店舗閉鎖損失引当金繰入	3,339
特別損失合計	31,942
税引前四半期純利益	180,447
法人税、住民税及び事業税	89,692
四半期純利益	90,755

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	180,447
減価償却費	175,083
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,498
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,903
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△17,211
固定資産除却損	3,859
減損損失	18,246
受取利息及び受取配当金	△1,564
支払利息	4,468
売上債権の増減額(△は増加)	△877
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,500
その他の資産の増減額(△は増加)	△9,423
仕入債務の増減額(△は減少)	10,743
未払金の増減額(△は減少)	3,512
その他の負債の増減額(△は減少)	3,845
その他	816
小計	375,846
利息及び配当金の受取額	70
利息の支払額	△4,470
法人税等の支払額	△13,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	357,868
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△128,000
定期預金の払戻による収入	80,000
有形固定資産の取得による支出	△384,359
無形固定資産の取得による支出	△15
投資有価証券の取得による支出	△10,200
建設協力金の支払による支出	△14,000
建設協力金の回収による収入	5,458
敷金及び保証金の差入による支出	△26,027
敷金及び保証金の回収による収入	16,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	70,000
長期借入による収入	320,000
短期借入金の返済による支出	△70,000
長期借入金の返済による支出	△174,623
配当金の支払額	△28,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	117,271
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,664
現金及び現金同等物の期首残高	145,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	160,379

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

該当事項はありません。

「参考」

(要約) 前中間損益計算書

(単位：千円)

前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
I 売上高	2,847,524
II 売上原価	811,065
売上総利益	2,036,458
III 販売費及び一般管理費	1,821,552
営業利益	214,906
IV 営業外収益	6,302
V 営業外費用	22,683
経常利益	198,525
VI 特別利益	34
VII 特別損失	33,723
税引前中間純利益	164,836
法人税、住民税及び事業税	70,980
法人税等調整額	3,151
中間純利益	90,705

(要約) 前中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	164,836
減価償却費	170,776
減損損失	14,932
貸倒引当金の増加額	7,437
賞与引当金の増加額	2,185
店舗閉鎖損失引当金の増加額	3,051
固定資産売却益	△34
店舗閉鎖損失	1,777
株式交付費	8,207
受取利息及び受取配当金	△1,567
支払利息	5,092
売上債権の増加額	△1,604
棚卸資産の増加額	△10,012
前払費用の増加額	△15,732
長期前払費用の増加額	△4,367
その他資産の減少額	930
仕入債務の増加額	18,109
未払金の増減額	4,500
未払事業税の増加額	6,387
未払消費税の減少額	△11,180
未払費用の増加額	5,300
預り金の増加額	1,862
長期前受収益の減少額	△2,372
その他負債の減少額	△151
その他	906
小計	369,272
利息及び配当金の受取額	268
利息の支払額	△5,088
法人税等の支払額	△174,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,339

(単位：千円)

前中間会計期間
(自 平成19年4月1日
至 平成19年9月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金等の預入による支出	△127,000
定期預金等の払戻による収入	183,508
有形固定資産の取得による支出	△526,036
有形固定資産の売却による収入	1,372
無形固定資産の取得による支出	△132
投資有価証券の取得による支出	△420
投資有価証券の売却による収入	380
建設協力金の増加による支出	△9,200
建設協力金の回収による収入	4,755
敷金及び保証金の差入による支出	△54,310
加盟金の回収による収入	122

投資活動によるキャッシュ・フロー △526,959

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入による収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△136,570
株式の発行による収入	297,042
配当金の支払額	△15,210

財務活動によるキャッシュ・フロー 445,261

現金及び現金同等物の増減額 108,641

現金及び現金同等物の期首残高 90,854

現金及び現金同等物の中間期末残高 199,495

6. その他の実績

仕入及び販売の状況

(1) 仕入実績

当第2四半期累計期間における仕入実績を事業部別に示すと、次のとおりであります。

業態の名称		当第2四半期累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
		金額(千円)
オリジナル部門	忍家	295,471
	くいどころBAR	28,995
	かいらく	8,823
	月の詩	8,978
	巴	8,912
	小計	351,181
フランチャイズ部門	村さ来	22,555
	益益	64,376
	大阪王将	12,995
	小計	99,927
東北・北関東事業部		451,108
オリジナル部門	忍家	347,195
フランチャイズ部門	村さ来	26,997
	益益	68,332
	大阪王将	9,355
	はなまるうどん	14,291
	小計	118,976
首都圏・北関東事業部計		466,172
合計		917,280

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を事業部別に示すと、次のとおりであります。

業態の名称		当第2四半期累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
		金額(千円)
オリジナル部門	忍家	1,020,628
	くいどころBAR	100,615
	かいらく	30,085
	月の詩	32,902
	巴	20,316
	小計	1,204,548
フランチャイズ部門	村さ来	77,286
	益益	205,130
	大阪王将	38,313
	小計	320,730
東北・北関東事業部		1,525,278
オリジナル部門	忍家	1,237,112
フランチャイズ部門	村さ来	88,528
	益益	224,988
	大阪王将	26,326
	はなまるうどん	41,633
	小計	381,477
首都圏・北関東事業部計		1,618,589
合計		3,143,868

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。